

＜葉山町制施行 100 周年記念事業＞創作一幕もののオペラ「奇稲田 姫」のご報告

2025 年3月20日(木・祝)葉山町福祉文化会館で公演を無事に大盛況にて公演をさせていただきました在研会の方々にもご覧いただき本当にありがとうございました。

このオペラの実現は夢のようでしたが そこには目に見えない魂の叫び！みたいなものを痛感しています。

皆さんがよくご存知の神話「須佐之男命と櫛稲田姫のものがたり」は、八岐大蛇を退治して櫛稲田姫をすくって夫婦になり “めでたしめでたし！”で**すく**る**ん**が**ん**全く違うのです。

葉山には700年代に良 弁 上 人 によって開かれた【森山神社】(ご神体が**櫛稲田姫**)と 逗子市の小坪にスサノオ神社があります 何故か **33 年に一度の大祭！**？

私は織姫と彦星だって 1 年に一度逢えるのに、随分と長い間の離別だな〜と。26 年前に森山神社の神殿(公民館)と**ぎ**実には和と洋のコラボレーションと銘打って「能・謡いの舞・シンセサイザー・ソプラノ」で4ヶ月間の短期間で観客席は野外の桟敷状でやってしまった時に、33 年？と不思議に思ったのですがもう一つ不思議がありました。それは森山神社の神殿に上がる階段途中でパンフレット用の写真を撮ってもらう時に不可解な事が起きました！**ゴォー**と音がした**と思った瞬間 雲一つない春の青空が真っ暗に曇り 風が寒く凍えるようでした！！ なにこれ!!神様が怒っているー!!**

それから26 年間は鳴かず飛ばず動かずの山でしたが、その山が動き出したのは2020 年の8月13 日(旧盆の入り)葉山図書館に郷土資料を調べに行った時からでした。背中を押してくれたのは近隣の友人で古書に詳しくは須佐之男命が長野県信濃で櫛稲田姫と監獄の館長とし伊勢の天照大御神に謀反を企て罰を受けたのですが、それでも盗 伐にその力を買われて相模・上州・下野・常陸4国を統制を命じられたと！

葉山も相模の国に属してました。でも本当に葉山に須佐之男命が来たのかしら。どうして森山神社のご神体が【**滝の坂の巫女**】と神社の大祭集にあるのかしら・・・それが8月13 日に図書館に行って全てが解き明かされたのです！ 信濃川は相模川に流れ逗子市の小坪に船で着く。小坪の港は中国からその昔、徐福が船の穴をふさぐための丸石があり、南葉山と紹介される横須賀市の葉山側の子産み石という地名は丸石もあり撫でると子宝に恵まれる。その丸石は源頼朝が開いたとされている森戸神社にもありそのご利益は確からしいです。團伊玖磨先生のお宅がその子産み石海岸の山に白く目立っていたのも懐かしいです。

余談になりました。

しんなせこう

須佐之男命が小坪港から葉山の 真 名 瀬 港に船で来たという可能性が分かりました。でもそこから山を隔てて滝野坂にどうやって行ったのか・・・？なんとその昔、真名瀬の裏山から滝野坂に続く横須賀街道につながっていた！やったー！と飛び上がり手を打ちました。そこからは私の想像力がどんどんと沸き上がり、何と一晩でシナリオ演出が頭に浮かび書き上げてしまったのです。

700 年代にすでに実存していた真名瀬の修験の寺に、良弁さんが修行の旅で訪れた浜で漁民と楽しく酒も勧められ、渋々と飲んでいううちにうたた寝をしてしまう。その夢に滝野坂の巫女を盗伐のお礼にと、貧しさからの捧げものを受けてしまうのですがその後、純真無垢な巫女さんは自殺してしまう！そのことを須佐之男命が悔やんで、夢の中で良弁さんに巫女の供養を嘆願して夢は終わるのです 夢から醒めた良弁さんは網を片付けに戻ってきた漁民たちその話すうちに、夢話が事実だったと知り京の都に急ぐ。その後夕日の真名瀬の富士を臨む中に滝野坂の巫女の魂は救われ昇天していく！

シナリオはかなり特殊な内容で、作曲者が見つからないまま 2 年がたった8月の終わりに宮崎滋先生にお電話すると、シナリオをご覧になり「やりましょう！」と破格の謝礼で承諾くださり、私も迷っていた葉山町 100 周年記念事業にも8月お盆休み明けに提出していたので、とにかく 2025 年3月20日に公演が決まりキャストも宮崎滋先生の懇意の歌手さん、そこから合唱のかたがたと スタッフが整ったのは2025 年の2 月も末！3月9日が通し稽古で練習の二回目。あと2 回それでもスケジュールが合わず現場で演出を伝える時間はなく、楽譜に書かれている曲想を生かしてどの様にカバーしていくか！？徹夜で演技を書き込み各位に送り未然に頭に入れてもらい GP・本番に全力疾走でした。

母校の新体操部の踊り、そして森山神社の氏子会のメンバーのお一人のキャラクターと歌手さんたちの力量を信じて、小道具もやっと本番に間に合う!! それでも GP の時間短縮から思うように目が行き届かず諸々はあるのですが、こんなに短期間で本番を迎え、大成功と口々に言って頂き、ご挨拶まわりで何う喜びは取りも直さず滝野坂の巫女さんの感謝の思いと飲みなのだ！と私もお世話になった多くの方々のお支えに成就させて頂いた感謝に堪えません。有難うございました。

平成 5 年特別派遣ソプラノ:矢嶋 恵